

# 教育長報告

## 1 報告事項

平成 20 年第 3 回沖縄県議会(9 月定例会)における質問・答弁概要について

## 2 事項の説明

- 平成 20 年 9 月 17 日に開会した平成 20 年第 3 回沖縄県議会(9 月定例会)における代表質問、一般質問において次のような質問があった。

### 質問事項

- (1) 全国学力テストの結果と今後の学力向上の取組について：嶺井光、當間盛夫、嘉陽宗儀、新垣清涼、渡嘉敷喜代子、比嘉京子、仲村未央、仲田弘毅
- (2) 全国学力テストの結果と学期制について：佐喜真淳
- (3) 全国学力テストの公表について：當間盛夫、新里米吉、仲村未央
- (4) フィンランドとイギリスの教育の違い等について：新里米吉、嘉陽宗儀
- (5) 30 人学級の進捗状況と今後の計画について：西銘純恵、渡嘉敷喜代子、当銘勝雄、玉城ノブ子、比嘉京子、當間盛夫
- (6) 教職員の多忙化及び勤務実態調査の結果について：嘉陽宗儀、比嘉京子
- (7) 教職員の病気休職者数の増加原因と対策について：新垣清涼
- (8) 病気休職者の代替補充教員に要する経費について：山内末子、比嘉京子
- (9) 衛生委員会の設置等について：渡嘉敷喜代子、山内末子、比嘉京子
- (10) 学校教育における幼稚園の位置付けと幼児教育振興アクションプログラムについて：新垣安弘、奥平一夫、新垣清涼、比嘉京子、仲村未央
- (11) 幼稚園の臨時教員の現状と対応について：赤嶺昇、奥平一夫、新垣清涼、渡嘉敷喜代子、仲村未央
- (12) 豊見城市の用務員削減と県の対応について：当銘勝雄
- (13) 臨時的任用教員について：嘉陽宗儀
- (14) 小中学校事務職員の臨時的任用職員の配置状況と未配置校について：奥平一夫
- (15) 「子どもの貧困」への認識と対応及び就学援助について：前田政明、西銘純恵、照屋大河
- (16) 給食費未納世帯について：前田政明、奥平一夫、西銘純恵
- (17) 修学旅行生の負担について：前田政明、上里直司
- (18) 保健室の児童の状況と保健手帳について：前田政明
- (19) 奨学金の貸与状況等について：西銘純恵
- (20) 沖縄盲学校、ろう学校を単独型の特別支援学校として存続させることについて：上原章、前田政明、赤嶺昇、奥平一夫

- (21) 選考試験の採点ミスと防止策について：西銘純恵
- (22) 教科書検定意見の撤回と記述の回復について：嘉陽宗儀、玉城ノブ子
- (23) 知事選挙公約「毎年 100 人の留学生派遣」の実現状況について：當間盛夫
- (24) 知事選挙公約「教育力おきなわ」の成果と課題及び教育力の向上について：吉田勝廣
- (25) 高校生の就職内定率の推移について：吉田勝廣
- (26) 連携型中高一貫教育の実態と成果等について：平良昭一
- (27) アメラジアンスクールの支援について：上原章
- (28) 不登校・中途退学者対応のフリースクールの実態及び中途退学者数について：山内末子
- (29) 不登校対策とスクールソーシャルワーカーについて：仲田弘毅
- (30) 携帯電話の問題点と対応について：金城勉
- (31) 学校の安全対策について：新垣清涼
- (32) 栄養教諭の配置計画等について：比嘉京子
- (33) 学校給食における地産地消について：当銘勝雄
- (34) 学校給食でのモズクの消費量について：金城勉
- (35) 平成 21 年開催予定の沖縄空手道古武道世界大会へ向けての今後の取組と展望について：  
佐喜真淳、仲田弘毅
- (36) スポーツ環境の整備及びスポーツ・レクリエーション団体の育成等について：仲田弘毅
- (37) 放課後子ども教室の実施状況等について：金城勉
- (38) 今後の県立図書館の役割、人員配置及び八重山分館の廃止等について：上里直司
- (39) 小・中学校での「しまくとぅば」の取組について：瑞慶覧功
- (40) 県の文化予算について：玉城満
- (41) 文化振興課と文化課の違いについて：玉城満
- (42) 「ダリ作品を沖縄に残そう会」への支援について：仲宗根悟
- (43) 台風 13 号の災害（県指定文化財サンニヌ台、久部良中学校）救援策等について：渡久地修
- (44) 小中高へのクーラー設置の促進と維持費の財源問題について：渡久地修
- (45) 嘉手納基地内の学校と県内学校の比較及び教育環境の格差について：渡久地修

このうち、「全国学力テストの結果と今後の学力向上の取組について」、「学校教育における幼稚園の位置付けと幼児教育振興アクションプログラムについて」、「『子どもの貧困』への認識と対応及び就学援助について」、「平成 21 年開催予定の沖縄空手道古武道世界大会へ向けての今後の取組と展望について」、「『ダリ作品を沖縄に残そう会』への支援について」の答弁要旨は、次のとおりです。

#### (1) 全国学力テストの結果と今後の学力向上の取組について

質問要旨： 今後、本県の学力向上に向けた教育庁全体としての取組を聞きたい。

答 弁： 県教育委員会といたしましては、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、これらの課題改善に多様な視点から取り組むため、外部有識者による学校改善評価検討委員会を

早期に立ち上げてまいります。

8月には、教育庁内に学力向上推進プロジェクトチームも設置したところであり、「全国学力・学習状況調査の分析・検討」「学力向上主要施策の見直し」「わかる授業づくりを中心とした教員研修の実施」などに取り組んでまいります。

また、本県の小・中学校教員の授業力向上を図り、児童生徒一人一人に「わかる授業」を構築するため、文部科学省の学力調査官等による示範授業と授業研究会の実施など、授業改善に取り組んでまいります。

さらに、先進県の視察・調査及び秋田県との人事交流を通して、本県教師の指導力、授業の質の向上を図ってまいります。

県教育委員会としましては、今後の学力向上対策の取組の充実を図るとともに、学校、家庭、地域が一体となった県民総ぐるみの学力向上対策を強力に推進してまいりたいと考えております。

#### (10) 学校教育における幼稚園の位置付けと幼児教育振興アクションプログラムについて

質問要旨： 学力問題は就学前保育（幼稚園・保育園）から見直さないと解決しないと考えるが、認識と見解を聞きたい。

答 弁： 学力向上を図る上で、早寝・早起き・朝ご飯など基本的な生活習慣を確立することは、重要な要素であると考えております。幼児期は、基本的な生活習慣や規範意識の芽生えを養う大事な時期であり、就学前の教育を充実させていくことは、極めて大切なことだと考えます。

県教育委員会としましては、本県の幼児教育に関する課題を踏まえ、豊かな生活体験等の取組を推進するとともに、「幼児教育振興アクションプログラム」を策定し、市町村と連携を図り、今後とも、幼児期における教育の充実に向けてまいります。

#### (15) 『子どもの貧困』への認識と対応及び就学援助について

質問要旨： 「子どもの貧困」という問題が教育の現場から提起されている。当局の認識と対応について聞きたい。

答 弁： 親の経済的状況によって、児童生徒の学習等に影響が生じることは、教育の機会均等や教育水準の維持向上の上から、あってはならないことだと考えております。

そのため、県教育委員会としましては、幼児児童生徒一人一人の実態に応じた「きめ細かな指導」など個に応じた指導の充実に向けて努めるとともに、確かな学力など生きる力をはぐくむ教育活動を展開しております。

市町村においては、教育の機会均等の立場から、学用品や医療費等の就学援助事業を行っております。

また、県教育委員会としましては、国に対し全国都道府県教育長協議会等を通じ、就学援助等の充実を要請しております。

(35) 平成 21 年開催予定の沖縄空手道古武道世界大会へ向けての今後の取組と展望について

質問要旨： 「沖縄伝統空手道振興会」が設立され、世界大会の開催が計画されている。世界大会の開催時期、内容、特徴は何か聞きたい。

答 弁： 本年 2 月、県内空手道主要 4 団体により「沖縄伝統空手道振興会」が設立されました。

その設立を記念して、同振興会が主体となり空手道世界大会が本県で開催されますことは、沖縄県の伝統文化の一つである空手道・古武道を、正しく継承、発展させ、世界へ発信する上で大変有意義なことだと考えます。

開催期日は、平成 21 年 8 月を予定しており、空手道古武道形競技会、演武会、セミナー及び交流会等を計画しております。

今後、実行委員会と沖縄伝統空手道振興会を中心に、関係機関・団体等と連携して、振興会設立記念にふさわしい世界大会の開催に努めてまいります。

(42) 『『ダリ作品を沖縄に残そう会』への支援について

質問要旨： ダリの彫刻作品「沖縄の海より出ずる太陽の神」について、「ダリ作品を沖縄に残そう会」が同作品の購入のため、支援を呼びかけているが、県として支援は考えられないか。

答 弁： 「沖縄の海より出ずる太陽の神」は、世界的芸術家ダリによる彫刻であり、沖縄の平和をテーマとしたものと聞いております。この作品が沖縄に残り、県民の鑑賞・学習の対象として活用されることは、教育上也望ましいことと考えております。

また、世界的な作品であることから観光等への貢献も大きいものと認識しております。

「ダリ作品を沖縄に残そう会」の活動につきましては、県としても協力・支援する必要があると考え、教育長が特別顧問に就任するとともに、その募金活動についても、県の各部局長及び教育機関の所属長等に、文書で協力依頼をいたしました。

また、同会が児童生徒に同作品展示会の鑑賞券を配布するにあたっては、関係機関との連絡調整を行う等の支援を行ってきたところであります。

○ 文教厚生委員会において以下の議案及び陳情の審査が行われた。

### 条 例

乙第7号議案 沖縄県立奥武山総合運動場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 (原案可決) 多数

### 議決事件

乙第13号議案 訴えの提起について (可 決)  
乙第15号議案 交通事故に関する和解等について (可 決)

### 新規陳情 (14 件)

陳 情	第 90 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 93 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 105 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 107 号	沖縄県立図書館八重山分館の廃止撤回を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 110 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 112 号	友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 123 号	学校現場の多忙化を解消し、「労働安全衛生委員会」の設置を求める陳情	(採 択)
陳 情	第 124 号	「30 人以下学級完全実現」を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 125 号	「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 126 号	幼稚園の教育条件整備と臨時職員の待遇改善を求める陳情	(採 択)
陳 情	第 137 号	サンゴの保護に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 140 号	「栄養教諭」の配置促進に関する陳情	(採 択)
陳 情	第 141 号	アメラジアンへの公的支援に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 142 号	天然記念物の伐採に関する陳情	(継続審議)

### 継続陳情 (10 件)

陳 情	第 35 号	石垣市における小学校低学年の 30 人以下学級の実現を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 40 号	「30 人以下学級」の早期実現を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 50 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 57 号	2009 年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 59 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)

陳	情	第 63 号	サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情	(継続審議)
陳	情	第 64 号	「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情	(継続審議)
陳	情	第 66 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情	(継続審議)
陳	情	第 67 号	沖縄県立図書館八重山分館廃止に反対する陳情	(継続審議)
陳	情	第 82 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)

○ 平成 20 年 10 月 8 日、米軍基地関係特別委員会において、以下の請願及び陳情の審査が行われた。

新規請願 (1 件)

請	願	第 1 号	新基地建設に関する請願	(継続審議)
---	---	-------	-------------	--------

継続陳情 (1 件)

陳	情	第 89 号	普天間飛行場代替施設 (新基地) 建設事業にかかるアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情	(継続審議)
---	---	--------	--	--------

※各委員会で審議された県教育委員会関係議案等の本会議における処理状況(平成 20 年 10 月 10 日)

乙第 7 号議案	沖縄県立奥武山総合運動場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	(原案可決) 多数
乙第 13 号議案	訴えの提起について	(可 決)
乙第 15 号議案	交通事故に関する和解等について	(可 決)

関係陳情の審査の結果は、各委員会委員長の報告のとおり全会一致で決定された。